

単元名 8 未来へ向かって 一三年間の歩みを振り返ろう

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 目的や相手を意識して言葉を選び、冊子をまとめることができる。相手や場を意識しながら適切な言葉を選び、自分の考えを伝えることができる。
- (2) 相手を意識して敬語を適切に使い、自分の考えが分かりやすく伝わるように構成を考えて発表することができる。自分の考えや思いが分かりやすく伝わるように構成や内容を考えて冊子を作ることができる。
- (3) 粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとする。

標準的な展開例

12210303_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 三年間の学びを振り返り、冊子のテーマを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの教科書や学習記録、作品を見直し、三年間の学習を振り返る。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★3年間の学びを振り返り、冊子のテーマを決めよう。 ○3年間の学びを総括するテーマを決める。 <p>2 冊子の構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★冊子の構成を考えよう。 ○冊子の構成について理解する。 ○整理する観点を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・学年や教材、学習内容、テーマごとに分類する。 ・三年間の系統を考える。 ・作品と作者、時代背景などを関係付ける。 ・比較して共通点や相違点を整理する。 ○それぞれの観点で学びを整理し、冊子の構成を考える。 <p>3～4 冊子を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★資料を集め、構成を工夫して冊子を作ろう。 ○資料を整理し、構成を工夫してまとめる。 <p>5～6 発表会を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★話し方を工夫して、作品を発表しよう。 ○発表会を開き、意見や感想を伝え合う。 ○学習を振り返り、考えが深まったことを伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習をどのように振り返り、まとめたか。 ・友達と作品を読み合ったり、発表を聞き合ったりする中で、自分の考えを深めることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の目次を参照しながら、何を学んだのか、どんな言葉に出会ったのかなど、具体的に思い出させる。 ・「知多の友」を使用する。 ・「目標」や「学習の見通しをもとう」によって、この教材の目標と学習の流れを捉えさせる。 ・印象に残っている学習を思い出し、それを基に、3年間の学びを総括するテーマを決めさせる。 ・教科書や学習記録を読み返したり、友達と話したりして3年間の学習を振り返らせる。 ・「知多の友」を使用する。 <p>【評】冊子のテーマを決める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙、中面、裏表紙など紙面の構成や役割について理解させる。 ・「②構成を考える」(p. 205)を参考に、どのような観点で3年間の学習を整理するか考えさせる。 ・思考を可視化しながら学びを整理できるように、付箋やマス目入りレポート用紙などを用意しておくとうい。 ・タイトルや内容、編集後記などの構成を考えさせる。 <p>【評】冊子の構成を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に考えた構成を基に、3年間の学びを冊子にまとめさせる。 ・「冊子の例」(p. 207)を参考にさせる。 ・「知多の友」を使用する。 <p>【評】構成を工夫して冊子を作る活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編集後記の内容を中心に、「これまで」と「これから」の学びについて発表させる。 ・「発表の例」「質疑応答の例」(p. 206)を参考にさせる。 ・「学んだことを意味づけ、今後に生かすためには」(p. 207)を意識させながら、聞き手に評価させる。 ・発表は、質疑応答も含めて、1人3分程度とする。 <p>【評】発表会で意見や感想を伝え合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業文集や自分史にまとめる学習などに発展させることも考えられる。 <p>【評】学習を振り返り、考えを深めたことを伝え合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

国際性というとは、流暢な外国語の能力や事業のスケールといったことばかりに目が向きがちである。しかし、それとは全く意を異にしている文章を読むことで、生徒たちに国際社会における人と人との関係についての考えを深めさせたい。また、新しい進路を控えたこの時期の生徒たちは、「自分とは何か」、「自分らしく生きるためにはどうすべきか」を探し求め始める。しかし、その答えは、そう簡単に見つかるものではない。他の人々の生き方や文学作品に表れた作者の思いに触れることで、少しずつ探り当てていくものだろう。教材を通して、国際社会の中で、自分らしく生きることとはどういうことかを考えさせたい。

中学校3年間の学習もまとめの時期である。教科書やノート、学習プリント、作品、さらには読書記録などを見直して、学んだこと、身に付いたことや出会った言葉など、観点を立てて整理することを通して国語の学習のまとめとしたい。また、まとめた冊子などをもとに発表会などをして、互いにこれからの学びに生かせることなどを話し合わせたい。